

おれんじ

NO.94

発行日 2023.11.11
発行・編集 土佐女子中学・高等学校
高知市追手筋2丁目3番1号
電話 875-3111 (代)

先輩方からの教え

中学教頭 藤田 浩之



身をもって知ることになりました。この時の訓示を「生徒たちの成長を思って行動しているか、いけないことをしたときは叱ることができているか、好かれようとして迎合していかないか。」と少々意識気味ですが井上校長先生からの言葉として胸に刻んでいます。

本校採用(1994年)に当たり、第十代校長 井上源兵衛先生の面接を受けに行ったとき、私は生まれて初めて土佐女子校内に入りました。面接で井上校長先生に土佐女子の第一印象を聞かれ、「校舎が真っ白で、ごみも落ちてなく、昇降口の靴箱の靴がきちんと整っていて、とても綺麗です。」と答えると井上校長先生は「そうかね、そうかね。」と笑みを浮かべておられました。そして笑みを消し、「生徒とは近過ぎず遠過ぎず、適度な距離を保ち、舐められないように毅然とした態度で接するよう。」と私に向かい厳しい口調で話をされました。大学で教育を学問としてしか学んでいなかった私にとって、その場で理解できるものはありませんでした。しかし4月に着任し、生徒たちからは新入生扱いされることになり、すぐに

ます。先輩からは「自分だけが仕事をしているみたいなことを言うんじゃない。見えない仕事が大仕事だ。」と諭されましたが、その後もしばらくブツブツ言っていたと思います。

2年目以降、卒業アルバム係やホーム主任、修学旅行係、生徒募集係などを担当し、仕事の幅が広がっていききました。独りよがりになりそうな時には先輩から言われた言葉を思い出すようにしてきました。周りへの感謝と協力、そして謙虚さを忘れないよう職務に努めていきたいと思っていました。

第十五代校長 荒川操先生

私が着任した当時、高校の学年主任をされていた。ある日、高校3年生が南職員室に私を訪ねてきて、運動会のおよこい踊りに参加してほしいと言ってきた。加してほしいと言ってきた。そのことでどんな振付なのか教えてもらおうことになり、生徒と一緒に踊っていると、荒川先生に厳しく注意されました。「あなたたち職員室で一体何やっているのっ!」あまりの恐怖に、そのときにどのような会話(謝罪)をしたか、まったく覚えていません。いつまでも学

着任1年目は教務部に配属され、座席は南職員室で作成管理、定期考査の成績処理や入学試験などを担当する部署になります。私に与えられた主な仕事は、定期考査の時間割と先生方の試験監督の割り振り案を作ることでした。今よりもホーム、教員数が多く、結構大変でした。私が苦勞して作成した時間割と監督案は、最終的に責任者の先生がパソコンで整えて打ち出し、職員室に掲示されました。当時の私は自分の仕事の成果が横取りされているように感じ、「なんで自分だけ、こんな仕事(雑用に思えた)をしないといけないのか、仕事していかない人もいるじゃないか。」と先輩に相談した(愚痴を言った)記憶があり

「荒川先生、あの時、叱って

いただきありがとうございます。」「

英語科 佐藤純男先生

毎月数冊の本をくださいました。記憶を辿れば、よくいただいていた本は「学燈」と呼ばれるものでした。今この原稿を書くにあたり、ネットで検索してみると「月刊PR雑誌。1897年(明治30年)3月創刊。初め「学の燈(ともしび)」また、とくに学燈とも表記。丸善発行。」とありました。佐藤先生は「この間の本はどうでした?」と話しかけてくださいました。当時の私は日々の授業など自分のことで精一杯かつ文芸に興味がないので、笑ってごまかしていました。佐藤先生へ。本をあまり読まずにいて、ごめんなんです。でも、いただいた本で「HOW TO BE A GENTLEMAN」(英語版)は今でも大切にしています。佐藤先生のような高い教養を身に着けることはできていませんが、これからも勉強を続けていきたいと思っています。

体育科 渋谷文男先生

よく校内で草むしりをさせている姿を見かけました。その頃、受験指導に重きを置いていた(今思い起こせば少し偏っていた)私は「渋谷先生、暇ながや。」と思っていました。それから時間が経ち、私が当時の渋谷先生と同じ年くらいになった時、草むしりするほど暇ではないこと、渋谷先生は見えない仕事をしてくれていたんだということに気づきました。

だということに気づきました。

体育科 森下正博先生

よく酒宴でご一緒しました。私が初めてホーム主任をしていたとき、森下先生は生徒指導の係をされていました。あるとき、藤田ホームの生徒が問題を起こし、校長先生から指導を受ける事態となりました。私が落ち込んでいたのがわかったのでしよう。指導後に突然、森下先生から飲み誘われ、話をしては行きました。どの店に行き、どんな話をしたかは全く覚えていませんが、森下先生が私を元気づけてくれるために誘ってくれたということを感じたことは覚えています。森下先生からは人と人とのつながり、コミュニケーションの大切さを教わったと思っています。

社会科 石川侑先生

2001年9月第十二代校長に就任されました。就任早々、石川先生は私たちに何の連絡もなく、登校してくる生徒に挨拶をするため事務室の前に立ち始めました。当時の私は初めて高校3年生のホーム主任をしており、進路指導のことで精一杯で石川先生の行動をそれほど気にも留めていませんでした。石川先生は「おれんじ」70号で「学校長に就任した際、私は考えていま

した。生徒たちに生き生きと充実した学校生活を送らせるために、自分にできることは何か。以前より、大学の先生方や県内企業の役員をなさっている方々から、最近の若い者は、挨拶もろくにできないし礼儀もなっていないと困ったものだ。しかし、土佐女子の卒業生は違う。挨拶やマナーの面が他の手本となってくれて助かっている、というようなことを私は聞いていました。この土佐女子の生徒の良さをさらに伸ばそうと私は考えました。まず朝、元気よく声が出せれば、一日を笑顔で過ごせるはず、いや、「おれんじ」の声を出すことで笑顔の一日を過ごしてほしい。そういう願いを込め、そして生徒たちの交通安全の点も考慮に入れて、毎朝の玄関前での挨拶を決意しました。(一部抜粋)と書いています。翌2002年、私は生徒指導の係となり、石川先生や他の先生方とともに、毎日あるいは交替で正門、西門、ひろめ市場の南側に立ち、朝の挨拶に参加するようにになりました。(この挨拶運動は石川先生の退任とともに廃止となりました。)

2021年4月からは現職に就き、挨拶に立つ場所を事務室玄関前に変えました。これには石川先生と一緒に挨拶をするという思いがあります。そのため石川先生が以前立っていた場所は空けて、私は柱の陰の隅っこに立っています。

2016年、私は生徒部の責任者となりました。しばらく経って、生徒指導で自分のできることは何かを考えたとき、石川先生のことを思い出しました。石川先生を見習い、登校してくる生徒に挨拶をしようと決意しました。ただし場所は、石川先生が立っていた事務室玄関前ではなく、追手前高校との間の南北道路に面した通用門としました。なかなか毎日立つことは難し

かったのですが、石川先生からの教えのとおり「生徒たちに今日もがんばれよという気持ちで、一人ひとりの顔を見ながら」声をかけました。

振り返ると、ここに書かせていただいた先生方だけでなく、土佐女子で共に働いたすべての先生方から、私は知らず知らずのうちに教えを受けてきており、そのおかげで今があると思っています。また生徒や保護者の皆さまからの励ましや感謝、そしてお叱りを受けたことも私自身の成長の糧となっています。

先輩・同僚の先生方、生徒、保護者の方々など私に関わったすべての皆さまからの教えを胸に、これからも土佐女子の発展に尽力していく覚悟です。(井上源兵衛先生、佐藤純男先生、石川侑先生は故人)



進路指導部より

進路指導部部長 田村 弘

文部科学省が公表した令和4年度学校基本調査によると、高等学校卒業生における大学・短大への進学率が初めて60%を超えた。また、大学在学者数は過去最多であり、そのうちの女子学生の割合は前年度と同率で、過去最高を維持していることである。

18歳人口の減少が続く中でも全国各地で学部・学科の新設が行われており、データサイエンス学科や看護医療系学科など、地域や社会の要請に応えるべく新たな学びの場が創出されている。また、看護・医療学を中心に大学院専攻科の新設がすすめられ、より高度な人材育成を目指した取り組みがなされている。

本校進路部では県内外の大学を訪問し、情報交換を行っている。その際、大学側が求める学生像として、高校時代の学習習慣の確立や明確な将来展望の持ち主などがあげられる。昨今の入試制度改革では、知識を活用する力や主体的に自ら課題を発見し探究する力が求められているが、基礎的知識の定着なくしての活用はありえない。日々の地道な取り組みあつての学力であることに変わりはない。

入試制度は総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜の3つに大きく分類される。総合型選抜は、受験する学校が明示しているアドミッションポリシー（学生受入方針）に

対して自分自身がどのように合致し、入学後どのように学業に励んでいくのかを客観的に受験生本人が提示することで合否判定がなされる入試制度である。

学校推薦型選抜は、高校3年間の学業成績や出席状況、部活動実績、資格試験取得状況など出願条件を各大学が設定するものである。どの高校からでも出願できる『公募制』と、大学（等）側が過去の受験実績をもとに出願できる高校を指名する『指定校制』の2つに分かれる。私立大学での学校推薦型選抜は一般入試と比べて受験科目数が少なく、年内に実施されることもあり受験者数は増加傾向にある。また、多くの大学において受験者数が一般入試よりも多くなる状況が続いている。

国公立大学は募集定員全体のうちの約3割を総合型選抜・学校推薦型選抜で募集している。定員の割合、実施の有無については各学部・学科によつて異なっており、学校推薦型選抜においては各高校からの推薦可能人数に制限があることが多い。また、出願要件に「人物・学業成績・適性等を学校（長）が責任を持って推薦できる生徒」と明記されており、更には第一志望校と考える生徒を対象としている。県内においては、各高校からの推薦可能人数を増やした学部、逆に減らした学部、学校推薦型選抜そのものを縮小

止の意向の大学とそれぞれに方針が異なっている。各大学が公表しているアドミッションポリシーに合致していることを本人作成の志望理由書や面接・小論文試験を通して確認され、さらには学科適性試験や口頭試問、共通テストの得点を加味して合否判定が行われる場合もある。一朝一夕の準備では対応できない。

一般的に学校推薦型選抜では学業成績（評定平均値）や資格試験取得状況、活動実績などが点数化されるので、意欲的に学校生活に取り組んだ生徒が有利となる。早い時期から将来を見据えた具体的な行動が求められる。

一般入試は年明けに行われ、教科試験によつて合否判定が行われる。特に国公立大学の前期・後期日程（二部、中期日程を実施）は募集定員全体のうち約7割を占めているが、1月に実施される大学入学共通テストの受験が必須であり、昨年度の平均受験科目数は5.62科目となっている。また、

ほとんどの私立大学においても共通テストを利用する入試が設定されており、私立大学専願者の共通テスト受験も10万人を超えている。

8月1日・2日の日程で京阪神地区の大学を訪問し、教職員や学生による学校紹介、学食でのランチ体験、学生寮や施設見学を行う『大学見学バスツアー』を開催した。教育方針や



入試制度はもちろん、それぞれの大学が持つ雰囲気も異なっており、実際に足を運ぶことで体感できるものがある。

高校2年生からは新教育課程となつていて、各教科における学習内容や受験科目が大学ごとに大きく異なっている。『情報』の扱いのほかに、『地歴公民』の科目設定に特に注意が必要で、併願や受験そのものができない可能性がある。大学側がweb上で公表している要項やオープンキャンパスへの参加を通して情報を収集してほしい。



過去3年間の大学別合格者数一覧 (のべ数・年度は入試年度)

大学名	合格者数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
お茶の水女子大	1		
大阪大			1
神戸大	1		
岡山大			4
島根大			
香川大	1	1	
愛媛大	1		1
高知大	7	9	2
熊本大	1		
釧路公立大	5	2	4
金沢美術工芸大			
都留文科大	1		3
愛知県立芸大			1
新潟県立大			
長野大			
神戸市外大			1
兵庫県立大			1
鳥取環境大			
島根県立大			
尾道市立大			
福山市立大			
高知工科大	5	5	6
高知県立大	10	11	8
北九州市立大	1		1
名桜大			
計	33	35	27
国際医療福祉大			1
文教大学			1
明海大学			1
目白大			1

大学名	合格者数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
神田外大			1
青山学院大			2
亜細亜大			2
慶応義塾大			1
國學院大			1
国士館大			2
駒澤大学			1
駒沢女子大			1
実践女子大			1
上智大			1
昭和女子大			1
女子美大			3
白百合女子大			1
専修大			2
創価大			7
創価大			1
大正大			1
大東文化大			1
拓殖大			1
玉川大			1
多摩美大			1
中央大			2
帝京大			1
東海大			1
東京家政大			1
東京家政学院大			1
東京工科大			1
東京電機大			1
東京薬大			1
東洋大			2
日本大			1

大学名	合格者数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
日本女子体育大	1	1	1
日本体育大			1
城西国際大			1
法政大			3
武蔵野音大			1
武蔵野大			1
武蔵野美大			1
明治大			1
明治学院大			1
立教大			1
関東学院大			1
昭和音大			1
横浜薬科大			3
中京大			1
名城大			3
大谷大			1
京都外大			2
京都先端科学大			2
京都産業大			3
京都女子大			5
京都芸術大			10
京都橋大			2
京都光華女子大			9
同志社大			1
同志社女子大			1
佛教大			4
立命館大			1
龍谷大			6
追手門学院大			5
大阪音大			6

大学名	合格者数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大阪芸大	3		2
大阪経済大	2		1
大阪商業大	2		
関西大	4	3	9
関西外大	4	2	2
近畿大	3	5	
摂南大			4
梅花女子大	1		
阪南大	3		
桃山学院大	1	1	
大和大	1	1	
関西学院大	2	3	3
甲南大	2	1	2
甲南女子大	3	3	
神戸学院大	6	10	9
神戸国際大	1	2	
神戸女学院大			5
神戸女子大	5	12	3
神戸松蔭女子大	1	3	2
武庫川女子大			3
関西福祉大	3	3	
兵庫医療大	2		
姫路大			1
奈良大	1		
岡山商大			1
岡山理大	4		2
川崎医療福祉大	2	1	2
倉敷芸術科学大	1	1	
就実大	3		1
美作大	6	5	3

R5.4 現在

大学名	合格者数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
環太平洋大			1
広島女学院大			1
福山大			2
安田女子大	3	3	1
広島国際大			1
四国大			4
徳島文理大	19	3	6
松山大	6	1	7
高知学園大	12	16	7
高知リハ専門職大	5	7	5
福岡大			1
沖縄大			1
他	43	4	9
計	203	172	158
実践女子大短大部			1
昭和音大短大部			
嵯峨美術短大			1
大手前短大			1
奈良芸術大	2		1
関西外大短大部			2
大阪芸術大短大部			1
川崎医療短大			1
就実短大			1
美作大短大部			1
徳島文理大短大			1
高知学園短大	12	14	13
他	4		
計	20	21	17

合格体験記

『当たり前だけど大切なもの』

大阪大学 / 理学部 物理学科 (前期日程) 合格
同志社大学 / 理工学部 情報システムデザイン学科 (一般選抜) 合格
立命館大学 / 理工学部 物理科学科 (共通テスト利用) 合格

坂本 明花里

私が勉強を進める上で、どの大学を目指すにしても、何の勉強をするにしても、特に大切だと感じたことが二つあります。

一つ目は基礎力をつけることです。現代文であれば漢字や語句の意味を、古典や英語であれば単語や文法を、社会であれば大事な語句をそれぞれ覚える。数学であれば典型問題を確実に解けるようにし、理科であれば公式を覚えて、その意味や使いどころを理解する等です。ここで勘違いしてはいけないのが、基礎といっても簡単ではないということです。多くの大学は基礎的な問題が解けると合格点に近づくことができません。しかし、これだけの科目の高校三年間で学んだことが全て頭に入っていると、いう状態になるまでには相当な時間がかかります。そこで私がお勧めする方法は、まず「これまでのレベルは完璧にした」という目標を立てて、それが八割ほどできるようになったら次のレベルに挑戦するというものです。残りの二割ほ

どは発展的な問題を解いていくなかで理解できなかったところを復習すると、次第に出来上がっていくと思います。私の場合、この方法で何度も何度もできるような状態まで繰り返すと一気に成績が上がりました。基礎固めは大変ですが、志望校合格を目指す上で欠かせない重要なものです。その努力を怠らず、一步一步着実に進んでいって下さい。

二つ目は少しでも早く勉強に取り組みことです。そうでなければ、いつまで経っても自分に合った勉強法が分からないままになります。残念ですが、こうすれば誰でも成績が上がるなんていう勉強法はありません。先生や先輩からのアドバイス、ネット上にたくさん転がっている方法を取り入れることはとても良いことだと思えます。しかし、それらがあなたの能力や性格、生活リズムに合うかどうかは人それぞれで、それを知るには意外と時間がかかります。同じ問題集を二月でマスターできる人もいれば、四月かかる人もいます。塾に通い勉強の予定を立ててもらった方が良い人も、そうでない人もいます。だからこそ、少しでも早く勉強を始めて自分に合った勉強法を確立することが大切です。

一つ目に関しては私自身、英語は高校三年生になるまでに共通テストレベルの問題なら楽に読めるくらいには基礎が仕上がっていたので、大学の二次試験でも英語が得点源となりました。また、中学二年生の終わり頃から当時数学を担当して下さった先生に誘われ、週一回自主勉強ノートを提出するようになり、高校二年生まで続けていました。週一回提出という小さな目標があったので、運動部で毎日練習があった私が一週間にできる量は少なかったが、三年近く続けたことで大きな力となりました。部活や習い事で忙しい人などは、どれか一教科だけでも早めに完成させることができれば随分と楽になるので、まずは少しずつ頑張ってみて下さい。

更に受験生は、志望校の入試問題の雰囲気や、今の自分に不足しているものが何かを知るために、まだ解くことが難しくても早いうちから定期的に赤本などを使い、過去問題に触れることも忘れないで下さい。

受験勉強は自分との戦いです。しんどくなると諦めなくなることもあると思いますが、合格でも不合格でも、一年間もしくはそれ以上頑張ったという経験は人生の大きな糧となります。弱い自分と向き合って、ぜひ最後まで戦い抜いてみて下さい。けれど、追い込みすぎて心も身体も壊れてしまったら元も子もないので、たまには息抜きして下さいね。



オープンスクール

令和5年6月10日(日)オープンスクールが行われ、149名の方が来校されました。邦楽部のウエルカム演奏に続いて、吹奏楽部・コーラス部・ピアノ部・ダンス部・書道部などのミニコンサートやパフォーマンスがあり、その後行われた体験授業や部活動体験でも楽しんでいただけようでした。天候は雨で、参加者

は減りましたがアンケートの結果には「おもてなしの心がすごい」など満足度はおおむね好評でした。

同年8月20日(日)夏のオープンスクールが行われ、92名の方が来校されました。今回は夏休みということで部活動中心の催しでしたが、県外や幡多地域など遠方からの来校者も見られました。



運動会

令和5年9月27日(水)運動会が開催されました。今回からは通常のプログラムとなり、最後は高3生に

よる、よさこいの大乱舞で例年通りの盛り上がりを見せました。



高知県立大学 留学生交流会

令和5年6月1日、県立大の留学生と本校生徒との交流会が行われた。まず最初に英語特別教室でE.S.S部と交流し、日本の伝統玩具で楽しんだ。次に浴衣の着付け体験をし、その後、茶道部との茶道体験を行った。最後に書道部との書道体験で、色紙に漢字を一字を揮毫し、その作品を額縁に入れてお土産として持ち帰った。この催しは昨年に引き続き2回目である。今後も本校と県立大の交流が続いていくことを願っている。



牧野富太郎の借用書発見

NHKの朝ドラ「らんまん」でおなじみの牧野博士が、20歳の時に本校で米学者ミツチエルの『地理書』という本を借りていたことが判明した。

この借用書の存在は約30年前、本校で高知共立学校資料集の編纂に関わった竹本義明先生(旧職員)がその資料集に記載していた。



このたび「らんまん」の放送にあたり、本校の図書館司書で88回卒業生でもある高島香里さんが、竹本先生の記述の証拠を探すうちに「植物採集行動録 明治大正編」(山本正江・田中伸幸編)の中に借用書の証拠が記されていることを知り、本校に残されていた古い資料から改めて「借用証書」原本を発見したのである。

これまで土佐女子に関係した偉人では、吉田茂元内閣総理大臣や現上皇陛下が確認されているが、本校の校史に新たな歴史的所与が刻まれたことになる。この事実は高知新聞令和5年6月4日号に掲載され広く県下に報道された。

書道部 「ついでeye1部:カレンダー企画:土佐十二景」出演

令和5年2月2日(木) 土佐女子メインアリーナに於いて、テレビ局の企画「土佐十二景」の収録が行われ、本校書道部がアナウンサーの高橋龍介さんと書道パフォーマンスで共演した。この企画はRKC高知放送が番組の企画でカレンダーを制作するというもので、一月のカレンダーに載せる写真とその制作過程の映像を収録した。

今回のテーマは「CHANGING!」である。来年のお正月にふさわしい言葉と構図を練り上げ、短期間で振る付けも行わなければならない。果たして成功するのか：この企画が持ち込まれてから収録まで、わずか三週間しかないという追い込まれた状況でのスタートであった。

収録は午後5時30分からで、如月の冷たい空気が緊張感をともなう夕闇とともに、なお一層厳しさを増していく。来週には県下に放映される：生放送ではないものの描く紙は三枚しかないのだ。見えないプレッシャーが土佐女子メインアリーナを包んでいた。時刻はすでに午後7時を回り、外はすっかり暗闇になった。寒さと緊張で疲労感がにじむ中、二度目の収録が始まった。大河ドラマ「龍馬伝」の曲に乗って素足の部員達が舞い踊り、アナウンサーの高橋龍介さんが大筆で来年の干支「辰」の字を揮毫する。二台のテレビカメラと一眼レフがそれを追う。みんなで作品を立ち上げ、ついに現場監督と顧問の先生からOKが出された。完成だ。すがすがしい疲労感と安堵の表情がその場に広がった。

なお、この様子は2月6日にRKCの番組「こうちeye1部:復活!カレンダー企画ベストショットを狙う」で県下に放送された。



ダンス部 NHK杯全国高校放送コンテスト出演

「みなのうた」が「NHK杯全国高校放送コンテスト」に出場



令和5年6月7日、本校のメインアリーナでNHK「みなのうた」の収録がおこなわれた。テーマソングとなるのはYOASOBIの「ツバメ」だ。この曲にあわせてMIKIKOの振り付けで本校ダンス部がパフォーマンスを披露した。収録したダンスはNHKのテレビ番組で放送された。

部活動 (全国大会の結果)

バドミントン部

〈中学〉

- 令和5年度 全国中学校体育大会 第54回全国中学校バドミントン大会

【団体】出場

【個人ダブルス】出場 矢野七音・松田心花組

〈高校〉

- インターハイ

【団体】出場

【個人戦ダブルス】出場

山脇理保子・安岡七瀬組、利根美咲・西森夕華組

【個人戦シングルス】出場 山脇理保子

【団体】3位【個人ダブルス】準優勝

- JOCジュニアオリンピック

全日本ジュニアバドミントン選手権大会

ジュニアの部ダブルス出場 安岡七瀬・西森夕華組

- 全国中学校体育大会 飛込女子

【高飛込】優勝 井上優奈

【3m飛板飛込】優勝 井上優奈

【大会最優秀選手賞】井上優奈

- 全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 飛込女子

【高飛込】6位入賞 柳川小夏

【3m飛板飛込】6位入賞 柳川小夏

- 全国高等学校総合体育大会 競泳女子

※以下 全員インターハイ出場

【女子200m個人メドレー】山本 礼羅

【女子400m個人メドレー】山本 礼羅

【女子100m平泳ぎ】栗山 陽菜

【女子200m平泳ぎ】栗山 陽菜

【女子400mフリーリレー】栗山・西村・高橋・石本

【女子400mメドレーリレー】高橋・栗山・山本・松井

【女子800mフリーリレー】山本・栗山・石本・高橋

マンガサークル

- 第32回全国高等学校漫画選手権大会

(まんが甲子園)

アイシー賞

放送部

- 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト

★テレビドラマ部門 団体出場

★アナウンス部門 岡崎文香、酒井なつみ

★朗読部門 林崎莉緒

- 第47回全国高等学校総合文化祭

★アナウンス部門 酒井なつみ

★朗読部門 川久保奈那子

- 第40回NHK杯全国中学校放送コンテスト

全国大会出場

★アナウンス部門 前田玲、秋森仁琴

卓球部

〈中学〉

- 令和5年度 全国中学校体育大会 第54回全国中学校卓球大会

【団体】ベスト8

【個人】出場 松本結鶴、西岡琉夏

〈高校〉

- 令和5年度 全国高等学校総合体育大会 第92回全国高等学校卓球選手権大会

【シングルス】出場 石川実鈴

【ダブルス】出場 石川実鈴・西岡緩夏組

- 令和5年度 特別国民体育大会

「燃ゆる感動かごしま国体」卓球競技

高知県代表 石川実鈴

弓道部

- インターハイ

【団体】予選通過 トーナメント進出

【個人】出場

バトン部

- Japan Cup2023

【高校ポンポン部門】第4位

- 2023かごしま総文

パレード部門出場

コーラス部

- 第47回全国高等学校総合文化祭 かごしま総文2023

【合唱の部】出場

囲碁部

- 第47回全国高等学校総合文化祭

囲碁部門出場

【女子個人戦】松田菜々子

【女子団体戦】山中彩音

- 第47回全国高等学校囲碁選手権大会出場

【女子個人戦】松田菜々子、山中彩音

【女子団体戦】松田菜々子、長田こゆき、山中彩音

書道部

- 第57回高野山競書大会 金剛峯寺賞 井上花音

- 第57回高野山競書大会 全日本書道連盟賞 島崎千尋

- 第57回高野山競書大会 南山賞 山中小暖

- 第22回全国書道展 書道展賞 井上花音

- 第52回全国高校書道展 理事長賞 勝賀瀬煌

- 第20回記念安芸全国書道展高校生大会 第20回記念賞 井上花音

- 第53回全国教育書道展 愛知県教育委員会賞 安田愛香音

- 第62回現日書展 準最高賞 安田愛香音

水泳部

- 特別国民体育大会 競泳女子

【少年女子A 400メートル個人メドレー】

第3位 山本 礼羅

邦楽部

- 第47回全国高等学校総合文化祭

【日本音楽部門】出場